

第2回 復興農学研究会

復興農学会



2023年
3月18日(土)
9時~17時

午前：一般講演
午後：基調講演および
公開シンポジウム、
総会、情報交換会



開催会場
福島大学講義棟
M4教室/M3教室

*本会はハイブリッド開催となります。リモート(Zoom)での参加をご希望の方は下記フォームからお申し込み下さい。後日、登録された連絡先宛にアクセス情報をお知らせ致します。



一般講演 (9:30~12:00)
参加者募集中
(発表者/視聴者)

*研究発表の有無に関わらず参加希望の方は下記のフォームよりお申し込み下さい。

<申込〆切>
2023年3月3日 (金)



基調講演 (13:00~13:30)
生源寺 眞一
(福島大学教授/復興農学会会長)
テーマ：現代の農学について本気で考えてみる(仮)

公開シンポジウム (13:30~15:30)
テーマ：耕作地の表層土喪失等の土壤劣化が農業生産や土壤環境に与える影響とその復興
—世界の状況から福島を見る—



シンポジウム座長
横山 正 (福島大学食農学類特任教授)

概要
世界では10年以上前から、様々な災害や人為的な行為によって土壌の作土層が失われたり変質したりする土壤劣化が広範囲に発生し、作物生産に大きな影響を与えることが危惧され、様々な対応が始まっている。一方、原子力災害を被災した日本では、福島県の浜通り地域で放射性セシウムにより汚染された農耕地の作土層が、除染のために大規模に取り除かれて喪失し、山土等に置き換えられている。これも土壤劣化の範疇に入る。では、世界では、作土層が喪失したような土壤劣化に対してどのように対応し、農業生産を持続させようとしているのだろうか、世界の対応と、福島の対応を比較し、福島における土壤劣化からの復興法を探る。



シンポジウム話題提供者
小崎 隆
(愛知大学国際コミュニケーション学部教授)

八島 未和
(千葉大学大学院園芸学研究所講師)

佐藤 孝
(秋田県立大学生物資源科学部教授)

シンポジウムコメンテータ
溝口 勝
(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)



一般講演参加申込
>参加費：2,500円
*お支払い方法などの情報は申込確認後、登録された連絡先宛にお知らせいたします。
>申込フォーム：
<http://bit.ly/3K9vcdV>

*Googleフォームによる参加申込が不可能な場合には、EmailもしくはTelでお問い合わせください。

公開シンポジウム参加申込
>参加費：無料
>申込フォーム：
<http://bit.ly/40VfTvm>

【連絡・問合せ】
担当者：佐伯爽
Tel:024-503-2148
Email: r596[at]ipc.fukushima-u.ac.jp

公式ウェブサイト
<http://fukkou-nougaku.com/conf/>